

福祉保健生活環境委員会会議記録

福祉保健生活環境委員長 原田 孝司

1 日 時

平成29年9月27日（水） 午前10時15分から
午前10時27分まで

2 場 所

第5委員会室

3 出席した委員の氏名

原田孝司、衛藤博昭、土居昌弘、末宗秀雄、後藤慎太郎、守永信幸、荒金信生

4 欠席した委員の氏名

なし

5 出席した委員外議員の氏名

なし

6 出席した執行部関係者の職・氏名

福祉保健部長 長谷尾雅通、生活環境部長 柴田尚子 ほか関係者

7 会議に付した事件の件名

別紙次第のとおり

8 会議の概要及び結果

(1) 第103号議案のうち本委員会関係部分については、可決すべきものと全会一致をもって決定した。

9 その他必要な事項

なし

10 担当書記

議事課議事調整班 副主幹 秋本昇二郎
政策調査課調査広報班 主幹 飛河敦子

福祉保健生活環境委員会次第

日時：平成29年9月27日（水）本会議休憩中

場所：第5委員会室

1 開 会

2 福祉保健部、生活環境部関係

（1）付託案件の審査

第103号議案 平成29年度大分県一般会計補正予算（第5号）
（本委員会関係部分）

（2）その他

3 閉 会

会議の概要及び結果

原田委員長 ただ今から、福祉保健生活環境委員会を開きます。

本日審査いただく案件は、今回付託を受けました議案1件であります。

なお、説明は福祉保健部と生活環境部を一括して行い、質疑についても説明が終了した後に一括して行いますので、御了承願います。

それでは、第103号議案平成29年度大分県一般会計補正予算（第5号）のうち、本委員会関係部分について執行部の説明を求めます。

神防災局長 それでは、私から今回の台風18号による災害の状況について、まず御説明をいたします。

お手元に平成29年台風第18号に係る災害の状況についてという紙があると思えますけど、それを御覧ください。これは昨日、9月26日18時半現在のものです。

人的被害は、亡くなった方1名、軽症が5名ということであります。

住家被害は、全体で3,418棟となっております。21日の常任委員会で説明いたしましたときには、1,348棟ということでしたから、その後、調査が進んでかなり増えたというものでございます。

床上浸水が1,493棟で、21日御報告したときの倍ぐらいになっております。やはり、特に津久見市が972棟と非常に多い状況です。それから、佐伯市、臼杵市で多く床上浸水が発生しております。

孤立地域でございますけれども、全て解消いたしました。津久見の四浦第5区、保戸島に近い所でございますけれども、道路で土砂崩壊があつて、そこはまだ啓開されておられません。道路は通れませんが、港でいろいろな漂流物があつて、船が行き来できなかったのが除去されました。船が行き来できるようになったということで、孤立状態が解消ということでございます。

それから、避難者の状況でありますけれども、現在、佐伯、津久見の3か所で12世帯、16名の方が避難されているという状況でございます。

次のページを御覧ください。

ライフライン被害の水道でございます、簡易水道で、津久見市の保戸島と四浦東地区、ここでまだ断水状態が続いております。

これも先般御報告したときには、佐伯市の宇目、本匠、弥生、直川等で、およそ950世帯を対象に断水ということでございましたけれども、これが解消されました。それから、津久見の中心部で浄水場がやられまして、5,400世帯で約1万1千人の方が影響を受けているということで御報告しましたけれども、こちらにつきましても復旧をしております。

社会インフラのところ、JRにつきましては、先ほど知事が提案理由説明で申しあげましたように、まだJR日豊本線、豊肥本線が不通となっておりますが、豊肥本線につきましては、10月2日に復旧の見通しということでございます。

あと、6、7の農林水産、商工労働関係につきましましては、現在調査中というところでございます。

私からは以上です。

長谷尾福祉保健部長 それでは予算につきまして、お手元の委員会資料1ページをお開き願います。

1ページは福祉保健部の総括表でございます。予算編成に当たりまして、先ほど知事の提案理由がございましたけれども、全容が分からない中での編成でございますが、これまでの経験を踏まえ編成をしているところでございます。

当部に関係する補正予算は、上から3段目にあります補正予算（第5号）の部計1億4,949万2千円が今回上程した、お願いしている予算額でございます。

これに、1段目の既決予算998億1,133万8千円、それとさきに説明いたしました補正予算(第4号)1,356万円を加えますと、現計予算の一番下の欄、部計①、999億7,439万円となります。

次に、その下の2ページでございます。補正予算案の概要について御説明いたします。

まず、事業番号1の救助対策費1億円でございます。

これは、災害救助法の適用を受けた津久見市、佐伯市におきまして、避難所の設置などの応急救助を実施するとともに、臼杵市については、本県独自の小災害に対する救助内規を適用するほか、みなし仮設住宅でありますとか、住宅の除去や応急修理につきまして県が2分の1を補助して、臼杵市においてこの災害救助法に準じた支援を行うというものでございます。

その下の事業番号2番、被災者援護費でございます。災害弔慰金でございまして、豊後大野市で亡くなった方が1名ございますが、この方の御遺族に対し市が支給する弔慰金に対しての国・県の補助負担金375万円でございます。

その下の事業番号3番、災害時感染症予防対策事業費2千万円でございます。これは、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律に基づきまして、県の指示により市が行う家屋等の消毒に要する経費を負担するものでございます。対象地域はそこにございますように、津久見市、佐伯市、臼杵市、豊後大野市でございます。

なお、大分市については、保健所を設置する市、いわゆる中核市でございますから、直接市が国庫を受けて独自に実施するものでございまして、県の予算は通りません。

めくっていただきまして、3ページの事業番号4番、老人福祉施設整備事業費907万5千円でございます。これは、床上浸水等の被害があった特別養護老人ホーム等、津久見市の二つの老人施設に助成する予算でございます。

その下の事業番号5番、児童福祉施設整備事業費1,666万7千円でございます。同じく床上浸水等の被害があった認定こども園等、津久見市の3か所の復旧に要する経費に助成するものでございます。

福祉保健部は以上でございます。

柴田生活環境部長 それでは、引き続き生活環境部関係部分について御説明いたします。その下の4ページでございます。

生活環境部関係の9月補正追加予算額は、表の左から五つ目、補正予算額(第5号)欄の一番下の、4億1,629万8千円でございます。既決予算額及び21日の常任委員会で御説明いたしました補正予算額(第4号)と合わせました予算総額は、110億3,250万8千円となっております。

次に、具体的な内容について御説明いたします。最後のページでございます。

一番目、大分県災害被災者住宅再建支援事業の補正予算額は3億5,275万円でございます。

本事業は、今回の台風18号により被災した津久見市、佐伯市及び臼杵市等の世帯のうち、国の被災者生活再建支援制度の対象とならない世帯に対し、助成するものでございます。

次に、その下の海岸漂着物地域対策推進事業の補正予算額は6,354万8千円でございます。

本事業は、台風18号により県内各地の港湾・漁港に漂着した多量の草木等であって、災害関連事業で処理できないものを回収・処分するために、増額を要求するものでございます。

被害の全容を把握する前での編成でございますので、今後被害状況が明らかになる中で、予算額が不足する場合も考えられます。その場合は、また更に補正予算を編成したいと考えております。よろしくお願いいたします。

原田委員長 以上で説明は終わりました。

質疑、御意見があればお願いします。

末宗委員 台風18号の被害だけど、佐伯、

白杵、津久見で、その他とあるが、その他というのは大体どこ辺りが多かった。

神防災局長 その他では、大分、別府、竹田、多いのはやっぱり豊後大野で被害が出ております。それから、あと杵築、こういったエリアでございます。

末宗委員 その中で豊後大野が一番多い。

神防災局長 床上浸水が豊後大野で38棟ございますので、今申し上げました中では、豊後大野が多いということです。

末宗委員 はい、分かりました。

土居委員 3ページの4番、特養などが2か所ということで、2か所はどちらなのか。次のこども園3か所はどちらなのか。

そして、5ページの一番最後、循環社会推進課の補正内容で、その他の地域はどこがあるのかをお伺いします。

長谷尾福祉保健部長 まず、老人福祉施設でございますけれども、津久見市の小規模多機能ホームこすもす、そして養護老人ホーム、児童福祉施設は認定こども園のカトリック津久見幼稚園、白蓮幼稚園、これも幼稚園ですけれども、和順幼稚園、以上3か所、いずれも津久見市でございます。

森下循環社会推進課長 一番上多いのは、やり県南地域になりますが、その他としまして中津とか国東とか、流域的に全部降っていますので、その他の港としましては、県下全域の港と考えていただければありがたいと思います。

土居委員 過疎地域でないのは、どういう。

森下循環社会推進課長 補助率の関係になりますけど、過疎地域でない所は10分の7、過疎地域は10分の8で、県南の方は過疎地域に当たりますので、10分の8の補助率です。それから、大分市とか中津市、杵築市、別府市というところは10分の7です。

土居委員 その辺まで入っているんですね。はい、分かりました。

原田委員長 よろしいですか、ほかに。

ちょっと私から1点だけ、福祉保健部で家屋の消毒というのがありますけど、それをす

るためには土砂のかき出しが、まず必要だと思うんですけど、テレビの報道等でボランティアが足りていないと報道されていますが、どういった状況なんでしょうか。

分かればという思いで質問します。

柴田生活環境部長 ボランティア、確かに津久見市において、大変被災状態が多いため足りていないという状況です。たくさんおいでいただいているんですけど、まだまだ対応し切れていないという状況でございます。

原田委員長 分かりました。

長谷尾福祉保健部長 確かに土砂の状況もあるんですけども、例えば、家の上の方については消毒薬の配布をほとんどやっております。各市役所とかが、そういうところを先にやっているわけです。

土砂の除去が済むと石灰をまくとかいう、今度は床下の行為になりますので、一応消毒関係は消毒薬——オスバンというんですけども、それと消石灰、この2つの系統でやります。上の方はかなりやっております。

原田委員長 はい、分かりました。

ボランティアの確保については、是非またどういった方法があるかも含めて検討していただければと思います。

柴田生活環境部長 県社協と県で、今度の土日にはバスもチャーターをして出すということで、これを宣伝していただくことで、少しでもほかの方が、あ、足りないんだなということも思っただけかなと考えております。マスコミの皆様にも御協力いただいているところでございます。

原田委員長 はい、分かりました。

では、よろしいですか。

〔「なし」と言う者あり〕

原田委員長 ほかに御質疑等もないので、これより採決いたします。

本案のうち本委員会関係部分は、原案のとおり可決すべきものと決することに、御異議ありませんでしょうか。

〔「異議なし」と言う者あり〕

原田委員長 御異議がないので、本案のうち

本委員会関係部分は、原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

この際、ほかに何かありませんか。

〔「なし」と言う者あり〕

原田委員長 別にないようですので、これを持ちまして本日の委員会を終わります。

執行部は、お疲れさまでした。